目 次

1　物価高騰対策について

2　当初予算案の概要

3　次年度の主な取組

4　主な大規模事業の予定

5　おわりに

【参考】これまでの取組

① 子ども・子育て・教育

ASAHIKAWA CITY

小中学校の給食費の支援

学校給食費支援費(小学校)　9億1,186万円
【国費9億1,186万円】
学校給食費支援費(中学校)　1億1,834万円
【国費1億1,834万円】

拡充

物価高騰

小学校給食の無償化を実現！！

●小学校給食費

保護者負担 16,000円（月額約1,340円）＋国支援分 57,200円（月額約4,760円）＝ 73,200円（月額6,100円）

→ 全額公費で負担！無償化が実現！

●中学校給食費

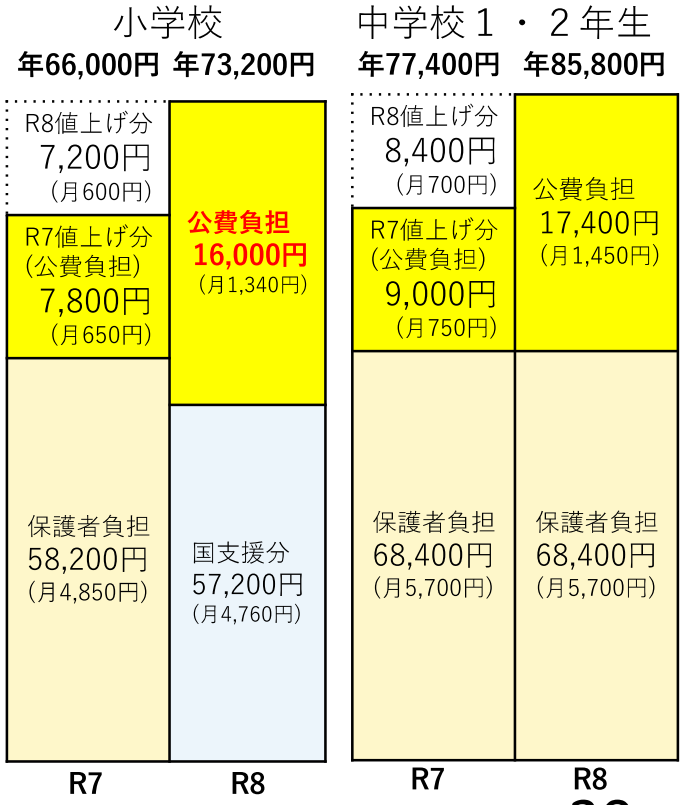
令和８年度値上げ分を公費負担

令和８年度公費負担額内訳

区分	公費負担 一人当たり年額	児童・生徒	合計
小学生	16,000円	12,457人	1億9,932万円
中学１・２年生	17,400円	4,554人	7,924万円
中学３年生	16,600円	2,335人	3,909万円



ー学校給食費の負担内訳ー



※一部端数調整

いじめ防止対策「旭川モデル」の推進

いじめ防止対策費 4,112万円
【国費2,500万円】
校内教育支援センター推進費 1,674万円

拡充

●誰一人取り残さない不登校対策の充実

○校内教育支援センターの拡充

拡充

令和７年度

緑が丘中学校・永山南中学校に配置

利用実績（R8.1末時点）

児童生徒数	のべ利用回数	教室への復帰	登校再開
39人	1,020回	9人	9人



令和８年度

新たに**３校**にスクールライフサポーターを配置
（**広陵中学校、東明中学校、北門中学校**）

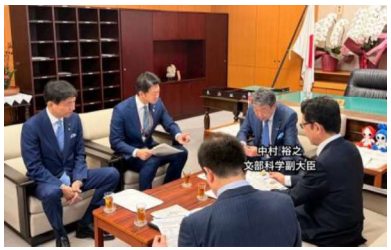
●いじめ防止対策首長連合の発足

継続

令和７年度

中核市市長会「子どもの学びの環境充実に向けたPT」で、
不登校・いじめ対策の充実について関係省庁や国会議員等に対して**提言活動を実施**

21市で提言活動



令和８年度

取組を単年度で終わらせず、**更に発展させるため**
「いじめ防止対策首長連合」を発足予定
（既に**11**市から内諾／R8.6月頃の発足を目指す）

●チャット相談の充実

拡充

市内小中学校の全児童生徒に加え、**高校生・保護者**も利用対象に！

従来　学校に相談 関係機関に連絡

チャット相談により
いつでも、どこでも専門家に相談可能！



「新たな学びの場」の創出

（新）学びの多様化学校設置準備費
71万円

新規

●「誰一人取り残さない」「個々の可能性を最大限に伸ばす」新たな学び場の構築

○学びの多様化学校（小中一貫）

・**特別の教育課程（カリキュラム）**による教育を実施できる**「不登校特例学校」**

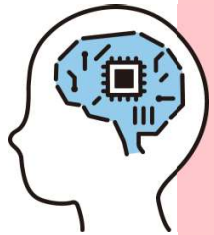
・授業時数の削減や独自の教科設定、少人数制、専門職（スクールカウンセラー等）の配置

・**全国初の市立義務教育学校（小中一貫）**

児童生徒個々のペースや興味に合わせた柔軟な学びを提供



○スーパースクール（小中一貫）



・**確かな学力や探求力、心身共に健康な子ども**を育成する場

・**授業時数の弾力的な運用**
例）「算数・数学」「英語」の授業数増
▶ **論理的思考力、コミュニケーション能力の強化**
例）「総合的な学習の時間」等の活用・充実
▶ **トップアスリートによるスポーツ教室の実施**
▶ **ＡＩやプログラミングなどのデジタル技術教育**
▶ **郷土愛の育成**

「確かな学力」と「探究力」を育成する特色ある教育活動を先導的に推進

令和１１年４月の開校を目指す

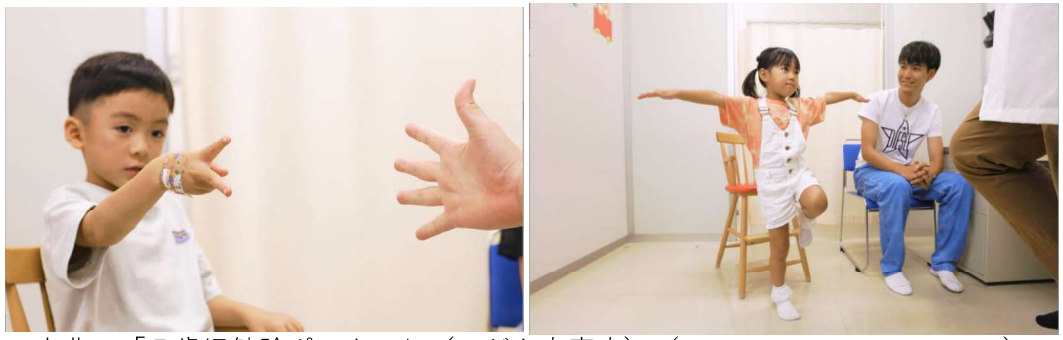
子どもの健診・検査体制の充実

母子保健推進費 1,441万円
【国費450万円】
新生児聴覚検査事業費 844万円

新規拡充

●５歳児健康診査の実施　新規

言語理解や社会性が高まる５歳児の
心身の成長・発達を確認するために健診を実施



出典：「５歳児健診ポータル」（こども家庭庁）（https://gosaiji-kenshin.com/）

５歳児健康診査
（一次健診）
小児科医
による
個別健診

必要に
応じて

健診後相談
（二次健診）
おやこ応援課
による
集団健診

●新生児聴覚検査の助成拡充　拡充

聴覚障害の**早期発見・適切な支援**を行い
音声言語発達への影響を最小限に抑える

Ｒ７年度
助成額
3,000円

▶

Ｒ８年度
助成額
6,000円



子育て世帯の
経済的負担軽減

Ｒ６年度受検率
94.2%
さらなる**受検率向上**を
目指す

児童の安全安心な環境づくり

（新）児童送迎用幼稚園バス等支援費
600万円【国費600万円】
保育所等給食原材料等支援費
3,475万円【国費3,475万円】

新規

R7
補正

物価
高騰

●児童送迎用車両への支援 新規

児童の安全安心な通園環境を維持するため、
送迎車両の維持管理に要する経費の一部を支援！



○対象施設

- 幼稚園
- 認可保育所
- 地域型保育事業
- 認定こども園（幼保連携、幼稚園、保育所型）
- 認可外保育施設（企業主導型保育事業含む）

○支援内容

施設で保有（リース含）する児童送迎車両

１台あたり **１０万円** を支援

●保育所等の経営支援 継続

保育所等の給食原材料の高騰に伴い
食材費等の一部を支援！



○対象施設

- 認可保育所
- 地域型保育事業
- 認定こども園（幼保連携、保育所型）
- 認可外保育施設（企業主導型保育事業含む）

○支援内容

対象施設に対して

児童１人あたり **５千円** を支援

学用品等の再利用促進

（新）こども未来リユースバンク事業費
468万円

新規

物価高騰

●「子ども未来リユースバンク」試行実施

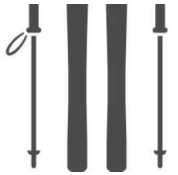
不要となった学用品を家庭から回収し、必要としている児童生徒へ譲渡する

⇒保護者負担の軽減、資源の有効活用

取扱物品　保護者アンケートの結果から、需要の高かった物品**11品目**を選定

〇スキー用品

スキー用具（板・ストック・靴）、スキーウェア、スキーゴーグル



〇学校用品

制服、ランドセル、鍵盤ハーモニカ、彫刻刀、絵具セット、習字セット、裁縫セット、算数セット



令和８年度予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スキー			回収イベント（3回）			回収・引渡イベント（2回）						
制服			回収業務（地区センター等に回収BOX）				引渡イベント（4回）（中学校別）			※在庫が出れば追加で引渡方法を検討		
教材		回収業務（小中学校から）				引渡イベント（2回）						

●市立中学校の制服の統一化について

全25中学校：男女ともブレザー20校（学校によりデザイン異なる）、学ラン・セーラー服５校

⇒保護者の負担軽減に向け、課題の整理など、制服の統一化に向けた検討を始める。

インクルーシブ環境の充実

拡充

愛育センター園庭整備事業費
2,307万円

●愛育センターにインクルーシブ遊具を整備



築山付のすべり台



カラフルな
飛び石



バスケット型座面の
ブランコ



（株）アイ工務店様から
の3,000万円の寄附を活用



旭川未来会議2030(子育て分野)
で聴取した様々な意見を反映



令和８年５月～供用開始予定
（オープニングセレモニー開催）

保育・療育関係者などへ広く周知し、地域開放も！

② 健幸福祉都市

ASAHIKAWA CITY

拡充

スマートウエルネスあさひかわの推進

スマートウエルネス推進費
1,092万円

●スマートウエルネス あさひかわプランの改訂

方向性

活動量の増加による将来への健康維持
人とのつながりの創出による市全体への健幸普及

令和８年～11年度

第２次スマートウエルネス あさひかわプラン
～つながる、ひろがる健幸づくり～



健幸に取り組める環境
健幸づくりの機会充実・情報発信

⇒市民が**健幸を実感**できるまちを目指す

●あさひかわ健幸アプリ

登録者数（R7.12時点）
約16,000人

R7年協賛企業・協賛品
85社 1,251品

新機能 **スタンプラリー機能を実装**



ガーデン巡りなど
２コースを搭載予定

●健幸イベントの実施

- 測定・体験・学習
- ヘルスチェックの機会の提供

イベント参加で
ポイントGET！

ワクチン接種・検診による予防

予防接種費 11億3,654万円【国費51万円】
がん対策費 2億4,910万円【国費47万円】
特定健康診査等事業費（国保特会）692万円
疾病予防費（国保特会）489万円

新規

●定期予防接種

○RSウイルス母子免疫ワクチン

新生児・乳児におけるRSウイルスを原因とする
下気道疾患の予防

開始時期 R８年４月から（予定）

対　象 妊婦の方

自己負担額：無料



○高用量インフルエンザワクチン

標準量インフルエンザワクチンの**４倍**の抗原を含み、
より強い免疫応答を誘導するワクチン

開始時期
R８年10月から
（予定）

	対象年齢	市助成額	自己負担額
標準量ワクチン	65歳以上	2,453円	1,540円
高用量ワクチン	**75歳**以上	3,173円（予定）	**5,000円**（予定）

●胃がん検診

胃がんの早期発見・早期治療に繋げるため

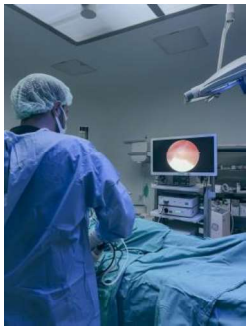
「胃内視鏡検査（２年に１回）」を新たに実施

開始時期 R８年８月から

対　象 50歳以上の方

自己負担額：3,200円（予定）

※国保被保険者など一部世帯は無料



●国民健康保険被保険者（課税世帯）の特定健診・がん検診の無償化

自己負担額

特定健診 500円
がん検診 200～500円

無償化！

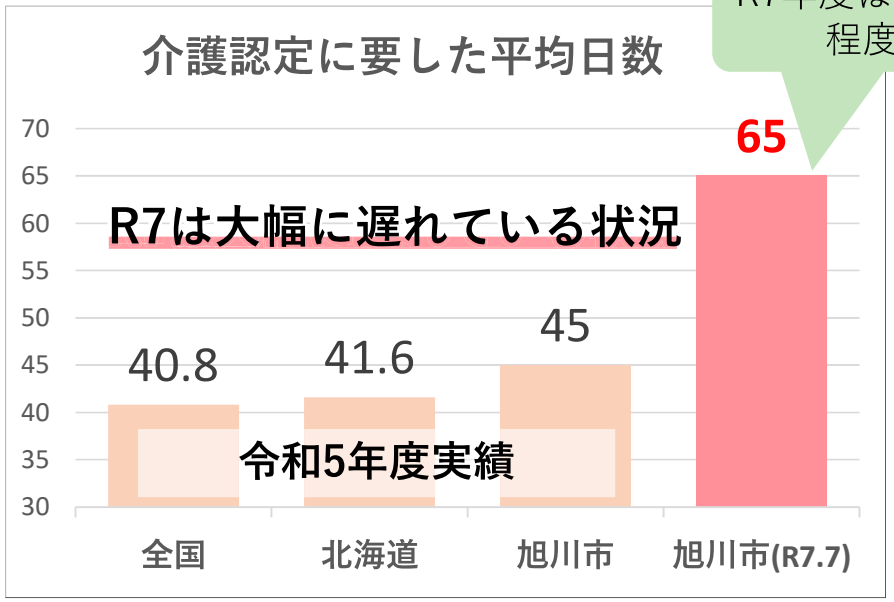


拡充

介護認定調査員の安定的な体制整備

認定調査等費
2億8,176万円

● 本市の介護認定審査の状況

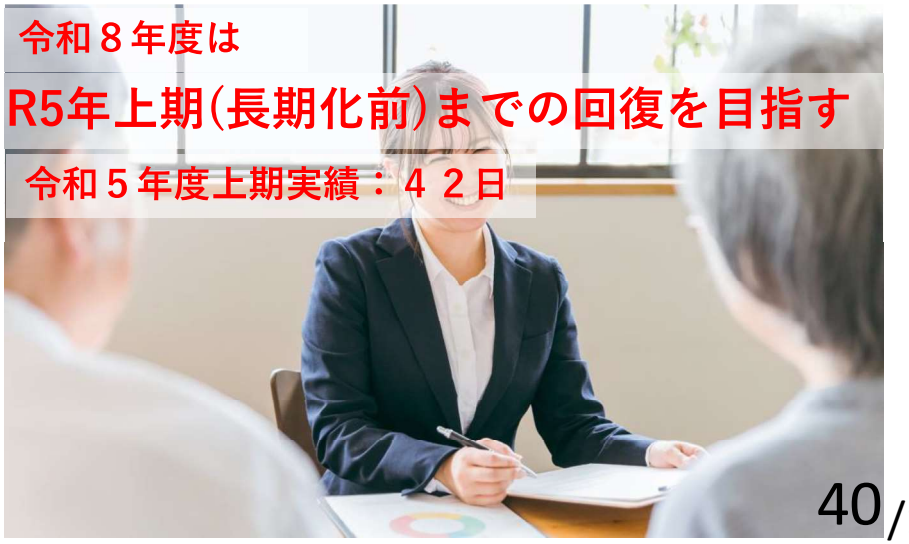


※厚生労働省の2023年度実績より

・申請～訪問調査に時間を要している
・調査員不足や申請件数の増が主要因

● 令和８年度の対策

①直営調査員の増員　19名➔**21**名
▶１か月**80**件程度の調査増を図る
②委託調査の強化（委託料の見直し）
　１件当たり委託料4,746円➔**5,027**円
▶既存契約の拡大と新規契約の確保



運転免許返納者への支援

高齢者バス料金助成費
2億7,088万円

新規拡充

● 公共交通利用支援　新規

開始時期　令和８年６月から

支援内容　高齢者の免許返納者へ
寿バスカード（市内バス１乗車100円）
を無料交付する。
※交付時負担金12か月分(3,000円相当)を減免

必要書類　運転経歴証明書等





● 自主返納サポート事業　継続

市内の協力店舗等で「運転経歴証明書」を提示することで、特典を受けることが可能



〇ダイイチ
店舗で買物した商品の市内配達料金を割引（300円→100円）
※買物金額の要件なし

〇道北アークス
2,500円以上買物した際、商品の市内配達料金を無料
※通常200円

〇大雪地ビール館
飲食ご利用の際、最初のビール１杯無料
※飲食金額の要件なし

〇道の駅あさひかわ売店
売店商品（酒・催事商品等を除く）を３％割引　など

令和８年度は協力店舗の拡大を目指す

障がい者支援活動の充実

手話条例推進費 253万円
聴覚障害者等コミュニケーション支援費
2,867万円

新規拡充

● 旭川市手話条例制定10周年記念イベント

新規

令和８年７月１日で
旭川市手話条例制定**10**周年



〇日時：令和８年９月（予定）

〇会場：旭川市障害者福祉センターおぴった

〇内容：映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映

▶主演 **吉沢 亮** さん（国宝主演俳優）

記念講演 ろうの俳優 忍足（おしだり） 亜希子 さん

● 手話出前講座

継続

〇内容：手話の挨拶や聴覚障がい者の暮らしの講話等
を希望する団体を対象に実施
〇回数：６０回程度
〇団体：学校・福祉施設・町内会等

●軽度・中等度難聴児補聴器給付

拡充

障がい者手帳対象外の18歳未満の難聴児への
補聴器給付にかかる要件緩和及び助成額拡充



	改正前	改正後
要　件	両耳の聴力レベルが30dB～70dB未満	**いずれかの耳の聴力レベルが30dB**以上
自己負担額	基準額（片耳61,254円）の1/3	基準額（片耳61,254円）の**1/10**
公費負担額	2/3を公費で負担	**9/10**を公費で負担
片耳給付 基準額最大 61,254円	［自己負担］20,424円 ［公費負担］40,830円	［自己負担］**6,125円** ［公費負担］**55,129円**
両耳給付 基準額最大 122,508円	［自己負担］40,838円 ［公費負担］81,670円	［自己負担］**12,250円** ［公費負担］**110,258円**

自己負担額が片耳あたり**約14,000円**削減

③ 除排雪・防災・環境

きめ細やかな除排雪推進

除雪費 37億6,100万円
【国費5億2,260万円】
雪対策費 3,749万円

新規拡充

●当初予算額 37億6,100万円を計上

過去の実績を踏まえた
排雪費用の見直しを実施！

北海道とのコラボ排雪の強化や
ザクザク路面対策の充実など持続可能な除排雪体制を維持！

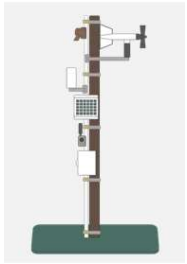


●除雪ＤＸ推進

○積雪センサー・カメラ増設

拡充

13台⇒**14台**（目標：R10までに20台へ）



○人感知システム導入

新規

AIによる**人感知システム**を**13台**導入
⇒**除排雪作業の安全性**を確保

車両後方の人を感知
オペレータに警告



●除雪機械購入支援

新規

○除雪業務受託者の除雪機械購入費用を補助



補助上限額

新規車両購入	300万円
中古車両購入	200万円

5台想定
(新規1台、中古4台)

ヒグマ対策の強化

鳥獣対策費 2,470万円

新規拡充

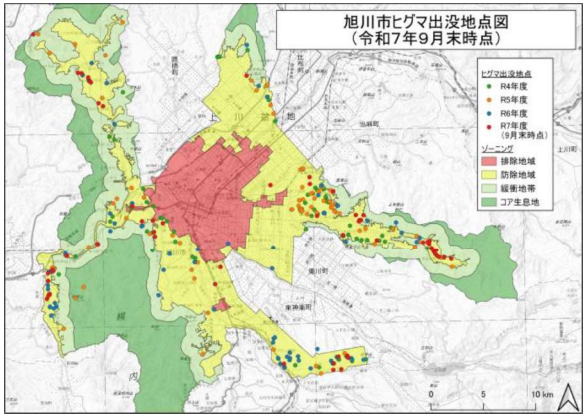
●市街地侵入防止対策等の実施　継続

〇市街地侵入防止対策
AIセンサーカメラによる監視、電気柵等の設置、河川敷の草刈

〇ゾーニング管理によるヒグマ対策を推進

〇猟友会・専門家・警察との連携

〇SNS・ひぐまっぷ（HP）
くらしのアプリによる情報発信



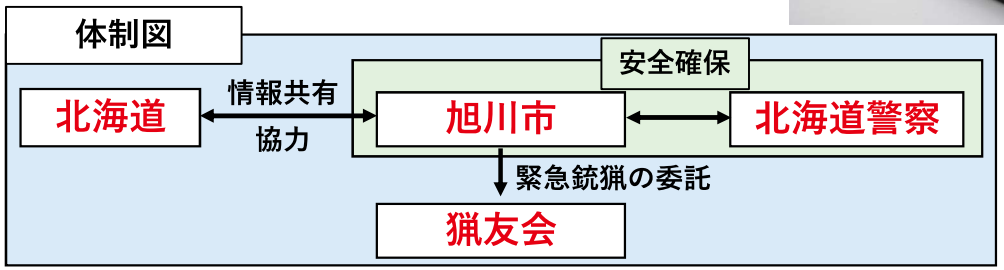


●緊急銃猟の実施体制構築　拡充

〇緊急銃猟を想定した実地訓練
〇ウェアラブルカメラの整備
〇デジタル簡易無線機の整備







●ヒグマに関する啓発の強化　新規

〇セミナー・シンポジウムの開催

学識経験者や捕獲従事者等をパネリストに迎え
ヒグマに関する**正しい知識、情報等**を
市民の方々に知ってもらう機会に



令和９年２月頃開催予定！

地域の安全安心 防犯カメラの増強

拡充

地域安全活動推進費
2,795万円
【国費225万円】

● 神居古潭・旭川駅舎南口に防犯カメラを設置

犯罪発生抑止等のため、既存の８台（さんろく街）を刷新し、新たに下記２箇所に設置

〇神居古潭（神居大橋）１台





〇旭川駅舎（南口西側）２台



避難所における防災備蓄の強化

防災施設等整備費
9,845万円【国費4,509万円】
浸水ハザードマップ整備費
979万円【国費490万円】

拡充

R7
補正

● 高齢者や障害者などの要配慮者や女性への対応を強化

〇パーティションテント
（100張⇒1,200張）



〇段ボールベッド
（200個⇒1,300個）



〇福祉避難所の停電・暖房対策

ポータブルストーブ
（0台⇒15台）



ポータブル電源
（0台⇒15台）



〇旭川市備蓄計画（R8.2改定予定）

R８年度はパーティションテント、段ボールベッド、ポータブルストーブ・電源を1,100張・個／15台を整備（進捗率は20％）
R12年度までに計画的な整備を行い、進捗率100％（5,500張・個／75台）を目指していく



パーティションテントを活用し
プライベート空間を確保



立ち座りが楽になり
腰や膝への負担が軽減

〇ＶＲ動画作成



河川氾濫が起きた場合の仮想動画を作成し、小中学生等こどもに対する防災教育を強化

継 続

防災庁地方機関の誘致

企画開発費
484万円

● 令和８年防災庁新設　地方機関の誘致活動を更に推進

○木原 稔 内閣官房長官（R8.1.28）



【防災庁地方機関としての旭川市の優位性】

①大規模災害がない
- 震度６弱以上の大地震発生率**0.9**％と極めて低い
- 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の影響がない

②北海道の中央部に位置する優れた立地特性
- 北海道全体の受援拠点として適地

③都市機能・医療機能の充実
- 旭川空港、ＪＲ４路線など道内外からのアクセスが容易
- ５大病院(総ベッド数**2,309**床)が集積し、傷病者の受入可能

④豊富な農作物を生かした食料備蓄基地

⑤陸上自衛隊第２師団が所在し、災害時にも安全性が高い

令和８年中【防災庁設立】

令和８年度も引き続き
防災庁設置準備室政務三役、管内選出
国会議員等に本市の優位性を説明

令和９年以降【防災庁地方機関設置（２か所）】

・日本海溝千島海溝周辺海溝型地震
・南海トラフ地震
発生時の**業務継続性**や迅速な**被災地支援体制**が構築できる地域に**設置を検討**

上川管内の首長、経済界、議会等と連携して、地方機関誘致の実現へ！





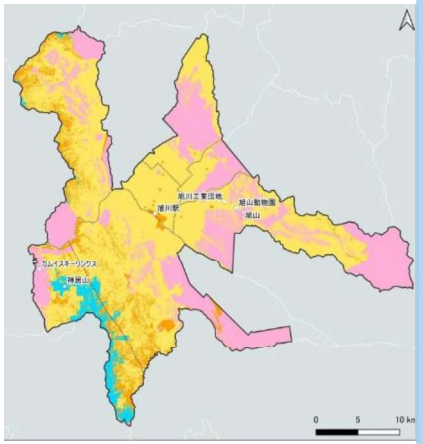


ゼロカーボンシティの実現

拡充

（新）GX推進費 23万円

●地域と共生する再生可能エネルギー立地促進



令和７年度

〇再生可能エネルギー（太陽光・風力）立地促進に向けた**ゾーニング調査を行い**

保全・調整・配慮・促進の４エリアを定めたゾーニングマップ（素案）を制作

令和８年度

〇ゾーニングマップ策定

R7素案にGX懇談会の意見を反映させ、マップを完成

〇「適正な再エネ開発に向けたガイドライン」策定

「適正な再エネ開発のための条例」制定（R9.4施行予定）

自然環境や市民生活と調和した再生可能エネルギー立地の実現へ！

GX・DX・AI産業を集積し、エネルギー会社を核とした「旭川モデル」の構築へ

④ 地域経済活性化

旭川空港の路線誘致・利用促進

航空路線確保対策費 782万円
新規路線就航支援費 2,331万円
【国費900万円】
空港整備費 2,685万円
【国費1,000万円】

継 続

●60周年を迎える旭川空港の更なる機能強化

国内線

- **成田線の維持・増便**
- **関西方面の路線拡大**（空港関係者との連携強化）
- **閑散期**における**マーケティング等を支援**



国際線

- **韓国便・台湾便の再開**を目指した**取組**
- **東アジア地域の新規路線開設**
- **就航インセンティブ**による**セールス強化**



継 続

北海道新幹線 旭川延伸の実現に向けて

企画開発費
89万円

●旭川延伸促進期成会として引き続き力強く活動！

令和８年度

○ 国や国会議員等への要望活動

「**札幌開業の早期実現**」と「**旭川延伸実現**」を要望

○ 啓発活動・研究活動

・パンフレット配布、ホームページによるＰＲ
・勉強会の開催や経済効果等の調査・研究活動







持続可能な公共交通の確保

地域公共交通対策費
6,580万円【国費4,100万円】

継 続

●市内バス運行支援金

物 価
高 騰

人件費、燃料費などの
運行経費の増加分を支援

○対象事業者：市内路線バス事業者
○補助金総額：**4,100万円** ※既存の補助対象路線は除く
※R7実績　　：バス事業者２者を支援

●路線バス乗務員確保対策助成金

大型自動車第二種免許取得
の費用等を助成



○補助内容：免許取得費用等を一部支援
○事業費　：**180万円**
※R7実績(見込)：免許取得4名、移住支援2名

●路線バス運転手魅力発信事業

地域おこし協力隊を募集

（路線バスの運転業務の魅力などを情報発信）

○募集人数：４名（市内路線バス事業者）
○事業費　：**2,200万円**（550万円×4名）

●ＵＤタクシー導入促進補助金

安全安心で快適なタクシー
利用環境整備を支援



○補助内容：上限額10万円
○事業費　：**100万円**
※R7実績　：15台導入

公共交通の利用促進

地域公共交通対策費
2,748万円【国費2,748万円】

継続

物価高騰

●あさひかわバス無料ＤＡＹ

〇無料日：２日間
〇内容　：旭川市内で乗車または降車で
　　路線バスが無料に
　　（※都市間高速バスは対象外）



R５実績
実施日：8/26、9/2
利用者：52,582人



R７実績
実施日：9/6、11/3
利用者：50,467人

●ﾀｸｼｰおでかけﾁｹｯﾄﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄＤＡＹ

〇実施日：市内のイベントに合わせて実施
〇内容　：タクシーの利用者に次回乗車時に
　　使用可能なタクシー利用券を配布
　　500円×2枚/1セット（R7実施時）



R５実績
・9/16～18（食べマルシェ）
・906セット



R７実績
・8/2（旭川夏祭り）
・9/13~15（食べマルシェ）
・940セット

after菓子博あさひかわ2026（仮称）

新規

（新）あさひかわ菓子博開催支援費
300万円【国費300万円】

●全国菓子大博覧会・北海道あさひかわ菓子博をレガシー（後世に残すべき資産）として、「お菓子のまち・旭川」を発信するイベント開催を支援！

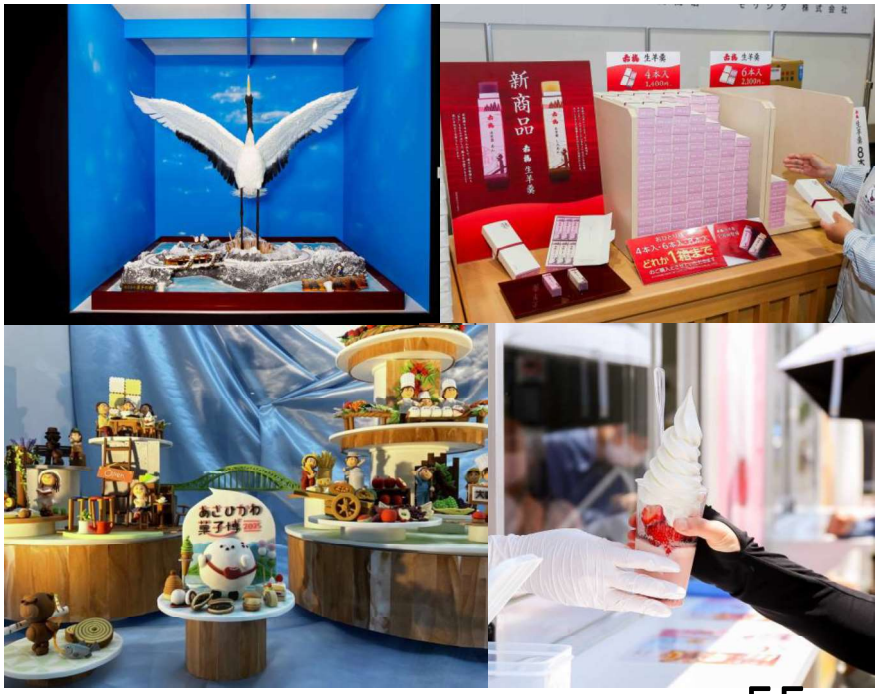
全国菓子大博覧会結果
開催期間：17日間
延来場者：261,336人
入場券販売：175,579枚



GW時期の**新イベント！**

〇開催日　：令和**8**年**5**月**8**日（金）～**10**日（日）
〇会　場　：道北アークス大雪アリーナ
〇入　場　：無料
〇来場見込：**20,000**人
〇主　催　：北海道菓子工業組合 旭川支部
〇後　援　：旭川市ほか
〇開催予定イベント

- **全国もぐもぐマーケット：全国のご当地菓子を販売**
- **スイーツビュッフェ：スイーツ食べ放題！**
- **スイーツ甲子園：市内高校生と菓子店で開発した商品を販売**
- **お菓子作り体験：来場者がお菓子づくり体験**



ベトナムフェスティバルin北海道旭川

新規

（新）ベトナムフェスティバル2026in北海道旭川開催負担金 100万円

●ベトナムフェスティバルin北海道 旭川初開催

〇開催日程　令和８年９月５日（土）～６日（日）

〇会場　ＪＲ旭川駅　駅前広場

〇主催　ベトナムフェスティバルin旭川実行委員会
駐日ベトナム社会主義共和国大使館（予定）

〇来場実績　７８，９００人（2024札幌）

〇開催内容

- **ベトナムグルメ販売コーナー**
  本場ベトナムのグルメ・ドリンクを味わえます！
- **北海道・ベトナム ＰＲ・物販コーナー**
  ベトナムや北海道の関連企業や団体によるPRやワークショップを予定
- **北海道・ベトナム 特別ステージショー**
  ベトナムの文化と触れ合う！2025では「ベトナム国家芸術団」が来道



北海道フェスティバルinハロン2023




ベトナムフェスティバルin北海道2025の様子

中核市サミット2026in旭川

新規

（新）中核市サミット開催事業費
2,350万円

●中核市サミットが北海道初開催！

中核市サミットとは

全国62の中核市が密に連携して、中核市共通の課題について議論し、その成果を発信する場

〇開催日　令和８年10月29日(木)・30日(金)

〇会場　旭川市民文化会館・市内ホテル等

〇参加者　中核市市長、議員、職員など
関係者総勢約600人＋市民

〇スケジュール

＜サミットテーマ（案）＞
30年の歴史に感謝
～中核市の新たな挑戦“62 CITY PRIDE”～



【１日目】
・プロジェクト会議
・開会式
陸上自衛隊第２音楽隊の演奏等



・講演会
「挑戦」・「デザイン」等をテーマに著名人の講演を実施
・レセプション
地域の産品でおもてなし



【２日目】
・中核市市長会議
・行政視察で旭川の歴史・魅力をＰＲ
デザインセンター
旭山動物園
北鎮記念館など



⑤ 観光・文化振興

マイセンコレクションの展示

新規

（新）マイセン展示事業費
6,257万円
【国費　3,127万円】

●令和８年度から旭川駅内でマイセンを常設展示！

令和７年度市役所総合庁舎にてマイセン展示会を開催

来場者は35日間で**7,000人**を超える見込み！





素晴らしかった！　**ほかの作品も見たい！**　**という声が多数**

令和７年度展示できなかったものを含め

約250点のマイセンを**旭川駅内**で展示！

令和８年秋頃オープン予定







南口（東側）前で展示予定

文化・芸術を活かしたまちづくり

音楽イベント開催負担金 695万円
（新）市民芸術マルシェ（仮称）運営費 120万円
【国費60万円】

新規拡充

●旭川ミュージックウィーク2026 拡充

開催５周年を記念して
音楽大行進を皮切りに盛大なイベントを開催！

〇観光大使の出演イベント
〇グルメイベントとの連携！
〇会場に西イオンを追加！





●市民芸術マルシェ（仮称） 新規 R7補正

旭川未来会議２０３０（文化分野）にて
文化・芸術活動によるまちづくりの提案



実現

〇プレイベント「ミニ芸術マルシェ」

様々な世代や様々なジャンルの文化芸術活動の交流イベントを**令和８年秋頃開催**



芸術マルシェイメージ
（銀座通祭りにおける高校生の書道パフォーマンス）



（子ども向けの彫刻ワークショップ）

アイヌ文化を活かした観光振興

アイヌ施策推進費
4,946万円【国費3,477万円】
観光受入体制充実費
2,386万円【国費1,908万円】

新規

●神居古潭エリアでのアイヌ文化発信

第1段階　令和８年度

- ○ビジターセンター設置　観光案内や物販の実施
- ○魔人伝説AR基盤整備　魔人伝説をモチーフとしたARを設置


魔神の足跡（おう穴群）
（ニッネカムイ・オ・ラオシマ・イ）


魔神の胴体
（ニッネカムイ・ネトパケ）

第2段階　令和９年度（予定）

- ○魔人伝説AR供用開始
- ○レンタサイクル開始

第3段階　令和10年度（予定）

- ○民間ツアー誘致
- ○観光モデルルート作成

神居古潭エリアの観光地化

アイヌ文化の継承

●あさひかわ アイヌ文化 Discovery Program

○夏フェスタ in 旭川駅北口広場【７月】

アイヌ古式舞踊等のステージイベントやワークショップを開催

○デジタルスタンプラリー「文化を巡る旅」【８月】

旭川市近郊のアイヌ文化関連施設をスマホで巡るスタンプラリーを実施

○神居古潭「こたんまつり」特別見学ツアー【９月】

伝統行事「こたんまつり」に、観光客向け特別ツアーとして実施



カムイスキーリンクスの成長戦略

カムイスキーリンクス索道等整備費
6億279万円

拡充

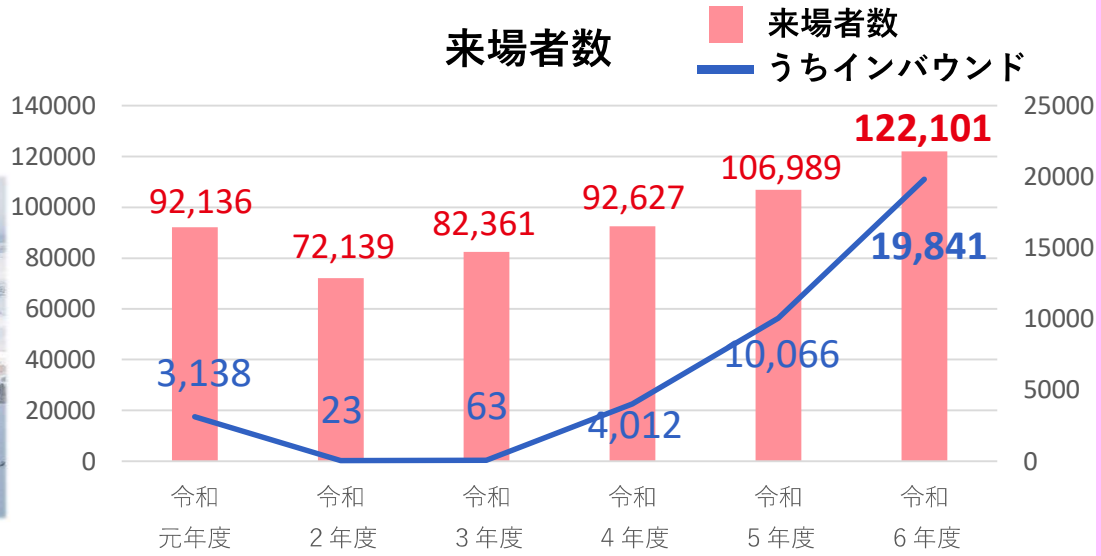
●カムイスキーリンクスを「世界基準のスキー環境」へ

令和６年度

来場者数　122,101人
インバウンド　19,841人

過去最多！





令和7年度

○ホスピタリティの向上

自動発券機
キャッシュレス決済
の拡充



富良野～カムイ間など
バス運行拡充継続
による分散集客



令和８年度

○第５ペアリフトのリニューアル

令和８年度オープン
までに完成予定！



拡充

「ユキノワ アサヒカワ」の更なる充実

街あかり推進費 2,800万円
【国費1,400万円】

●雪と光による美しい景観づくり

令和７年度

・30周年を迎え、名称を変更
「ユキノワ アサヒカワ ～雪と光がつなぐ街～」
・**選択と集中**による明暗のメリハリを創出
・これまでの23万球に加え、**新たにプロジェクター**
やライトアップ等の演出を追加







令和８年度

更なるイメージアップと冬期来街を促進

国費を活用し、予算を倍増！

1,400万円 → **2,800万円**
（地域未来交付金を活用）

新たな「魅力的なスポット」
の創出に向けた検討・実現

北の恵み あさひかわ食べマルシェ

北の恵み食べマルシェ開催負担金
4,230万円【国費400万円】

新規拡充

●北の恵み あさひかわ食べマルシェのコンテンツをリニューアル！

コンセプト

「食べて、触れて、笑顔。食べマルシェ×子どもの“おいしい体験”広場」

〇コンテンツ１　「（仮称）ヨルマルシェの実施」※地域連携　新規

- 会場：駅前広場会場内
- 営業時間：20時（予定）まで営業
  ※1・2日目のみ実施/他エリアは18時まで



※営業終了後は会場周辺（サンロク・買物公園沿道）の（仮称）ヨルマルシェエントリー飲食店へ

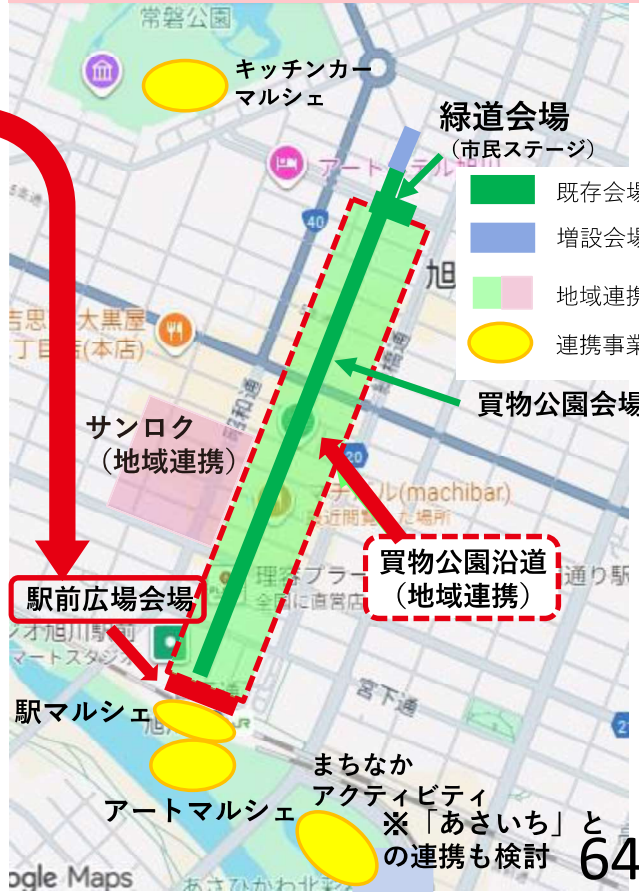
〇コンテンツ２　「子ども向け体験エリアの充実」　拡充

地元の魅力を知る
「おいしい学び場」
「遊びの広場」
などの各種体験ブースを設ける





9月19日（土）～21日（月・祝）
3日間開催予定



宿泊税を活用した主な観光施策の充実

大雪カムイミンタラDMO推進費
2,120万円【国費1,060万円】
観光プロモーション推進費 1,100万円
旭川観光コンベンション協会補助金
720万円【国費260万円】

拡充

●コンベンション誘致推進事業補助金

○「**国際会議**」開催助成金の**拡充**

大規模コンベンションの積極的な誘致促進

延宿泊者	現行	
（単位:人泊）	通常期	閑散期
20～49	20万円	30万円
50～69	50万円	75万円
70～99	70万円	105万円
100～	100万円	150万円

延宿泊者	拡充	
（単位:人泊）	通常期	閑散期
20～49	20万円	30万円
50～69	50万円	75万円
70～99	70万円	105万円
100～149	100万円	150万円
150～199	150万円	225万円
200～249	200万円	300万円
250～	250万円	400万円

※通常期：1月、2月、5月～10月
閑散期：3月、4月、11月、12月



※イメージ

【参考】旭川コンベンション開催支援助成金：令和4年度まで最大20万円

●大雪カムイミンタラDMOとの連携強化

○観光DX支援
人流データの活用や観光事業者DX支援

○高付加価値観光コンテンツの造成
文化・自然を生かした長期滞在・高付加価値商品の造成

○戦略的情報発信・プロモーション
SNS×WEBによる情報発信とツーリストシップの普及

○シビックプライドの醸成
住民への経済波及効果の見える化、観光セミナーの実施

●東アジア・豪州をメインターゲットとした観光プロモーションの強化

○旅行事業者へのセールスコール
○旅行博覧会等のイベントへの出展
○インフルエンサーを活用した情報発信
○東アジア市場向けの商談会の実施



⑥スポーツ王国旭川

ASAHIKAWA CITY

大会派遣補助の拡充

体育振興費 1,000万円
各種大会選手派遣推進費(小学校) 201万円
各種大会選手派遣推進費(中学校) 1,181万円
文化芸術活動振興費 736万円

拡充

●スポーツ・文化の全国大会等出場にかかる交通費等の補助を拡充！

○スポーツ大会出場費補助金

対象 団体・個人
（中体連以外・年齢制限なし）

大学生世代以下を増額！

1.5倍	全国	10,000円 ➡ 15,000円
2.5倍	世界	40,000円 ➡ 100,000円

○大会選手等派遣費補助金

対象 北海道（日本）中学校体育連盟（中学生）
北海道（全日本）吹奏楽連盟（小・中学生）

	道内	8,500円 ➡ 最大 10,000円
	全国	42,000円 ➡ 最大 45,000円

※1泊＋交通費

○文化芸術関係全国大会遠征補助金

対象 文化芸術に関する部活動
青少年派遣団・個人
（学生or18歳以下）

2倍	道内	5,000円 ➡ 最大 10,000円
約2倍	全国	8,000円 ➡ 最大 15,000円

※補助上限10人⇒30人 ※1泊＋交通費

更なる充実を目指して検討を進める！

スタルヒン生誕110周年記念事業

新規

通年生涯スポーツ振興費
200万円

●ドリーム・ベースボール 【6月13･14日又は 8月29･30日開催】

堀内恒夫氏（予定）、谷沢健一氏（予定）ら往年の名選手たちが旭川に集結！







●ファーム公式戦開催！ 【8月16日開催】

北海道日本ハムファイターズ vs 東京ヤクルトが実現！





●星野伸之×牧谷宇佐美×KEBOZ 野球教室

【9月4日開催】旭川ゆかりのトップアスリートと「KEBOZ」がコラボ！110周年記念グッズも展開予定！

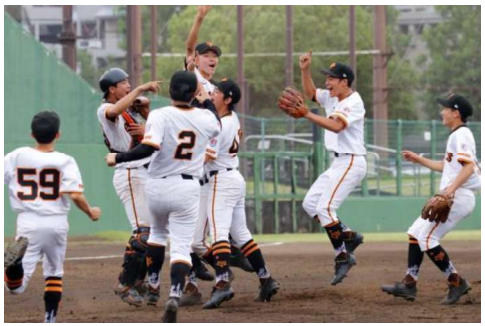




●読売ジャイアンツU15旭川合宿 【7月26日～29日】

西武や巨人で活躍した
片岡保幸監督率いるプロ球団初のユースチームが来旭！





※巨人軍提供

●旭川市出身プロ野球選手ユニフォーム展示

旭川から羽ばたいたプロ野球選手たちの軌跡を辿る特別展示

スポーツを通じたまちの活性化

新規

スポーツ大会等誘致推進費
1,881万円

●デフリンピック陸上日本代表【8月】 継続

デフ陸上国内トップ選手と
の交流イベントも開催！

【昨年合宿に参加した選手達の成績】

金メダル4個　銀メダル2個　銅メダル1個

（金メダル獲得者）
・山田真樹 選手（男子400m）
・遠山莉生 選手（男子ハンマー投）
・男子4×100mリレー
・男子4×400mリレー





●慶應義塾大学体育会野球部【8月】 継続

時期：8月上旬
場所：スタルヒン球場

- **５年連続開催！**
- **60名参加予定！**
- **野球教室も開催予定！**



●Ｊリーグ等の合宿誘致に向けた調査 新規

【想定される課題】

・グラウンドの整備
・宿泊施設と練習場の距離
・食事面でのサポート
・シャワー等の環境整備

など



●全日本還暦軟式野球選手権大会【9月】 新規

時期：9月18日～22日
場所：市内グラウンド

- **第40回大会！**
- **初の北海道の全国大会！**
- **64チーム参加予定**



北海道還暦軟式野球連盟の皆さんの表敬訪問

北口榛花選手 顕彰モニュメント

新規

通年生涯スポーツ振興費
1,000万円



●北口選手の挑戦と努力に触れ、「スポーツ王国旭川」の新たなシンボルを「オール旭川」で制作

○事業概要

・小中高生から、地元のデザイン・ものづくりに携わる職人・企業、広報関係者まで、幅広い層が関わる「オール旭川」で制作。

・**総額1,300万円**を想定
（クラウドファンディング等により資金調達予定）

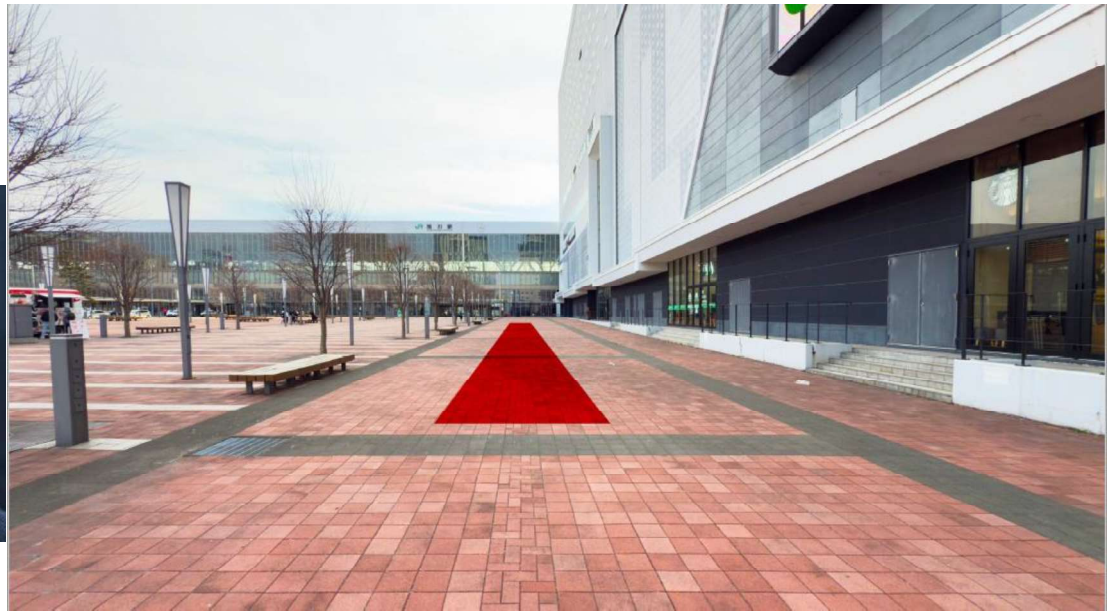




旭川市政アドバイザー
藤本壮介氏がデザイン

○設置候補地イメージ

JR旭川駅北口に設置予定



⑦ 農業・産業振興

持続可能な農業の推進　人財獲得と省力化

新規就農確保・育成対策費 2,872万円
【国費376万円】
スマート農業・省力化技術導入支援費 5,995万円
【国費2,997万円】

新規

●新規就農奨励金の創設 新規

・現行制度

・国と北海道の補助金の自己負担分を支援（1/4を支援）

（上限額）
・単身：125万円
・夫婦：187.5万円

〇新制度

・新たな支援制度として就農時に奨励金を交付

・単身：**200万円**
・夫婦：**300万円**

〇対象者（Ｒ８年度は２経営体予定）
・本市において農業研修を終了し、独立・自営就農した農業者

▶金額を拡充し道内でも**最大クラスの支援**に！
▶経営状況が最も厳しい**就農直後（春）の支援**が可能に！
▶他の補助制度を組み合わせ**就農10年目**までをサポート！





農業研修の様子

●スマート農業の更なる推進

〇スマート農業・省力化技術導入支援補助【補助率1/2】

新規

■セクションコントロール付き ブロードキャスター・ブームスプレーヤー

・上限額**150**万円　・想定台数**24**台





農薬や肥料の散布をデジタル技術により均一化・省力化

連動

継続

■自動操舵システム

・上限額**125**万円　・想定台数**34**台



継続

■水管理システム

・上限額　**50**万円　・想定台数**29**台



農業者の実態を踏まえた新たな支援

強い園芸産地づくり支援費 3,931万円
【国費 1,950万円】

新規

●園芸作物施設等整備導入支援事業補助金

○環境制御装置導入支援【補助率1/2】 新規

・上限額80万円　・想定数10戸27棟
・対象：ハウス自動開閉装置や自動散水システム等




ICT技術を活用し、ハウス内の環境制御を省力化することで作物の効率的な栽培を支援

○耐久性ハウス導入支援【補助率1/2】 新規

・上限額１坪当たり 2 万円　・想定数 7 戸15棟
・対象：耐久性ハウス

（例）５０坪分導入する場合は、１００万円の補助金
（ただし、対象費用の1/2を上限とする）



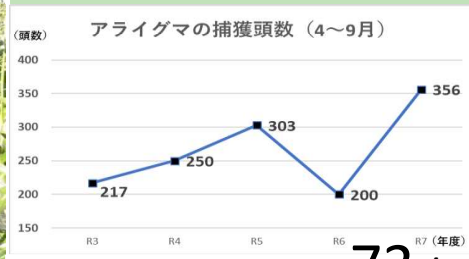
通常のハウスより強風や積雪等の自然災害に対する耐久性に優れているハウス導入を支援

○電気柵等導入支援【補助率1/2】 新規

・上限額10万円　・想定数79戸
※スイートコーン・かぼちゃは、
１～３ha：20万円、３ha以上：30万円
・対象：電気柵、防獣フェンス等




農家の経営に打撃を与えるアライグマ等による作物の食害防止を支援



有機農業の推進　稼げる農業を目指して

高付加価値農産物流通拡大事業費 4,906万円
【国費 1,930万円】

拡充

●有機農業支援関連補助金の規模拡大

〇有機農業拡大支援補助金【補助率1/2】

継続

・上限額**500**万円　・想定数**12**戸

・対象：除草機、ストーンクラッシャー等





【有機農業支援に関する補助金の規模推移】

R６年
8,702千円

R７年
（決算見込）
20,699千円

R８年
（予算）
39,006千円

●泉大津市等全国の自治体との連携

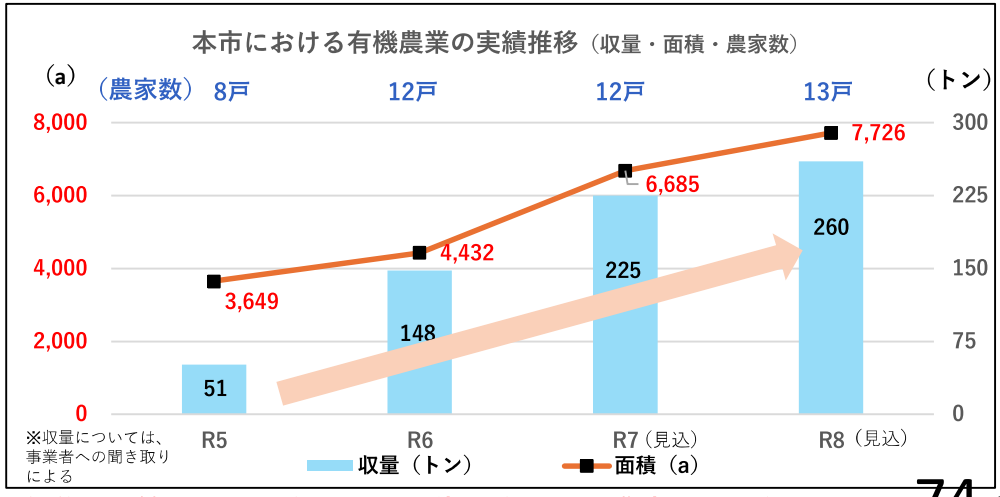
拡充

〇コメがつなぐ自治体間農業連携首長協議会
「コメサミット」の設立予定！



令和8年5月18日予定

泉大津市との全国初の
「オーガニックビレッジ宣言」
をきっかけとして全国**16**自治体
の連携へと発展！



3年前と比較し収量は5倍以上、面積は2倍以上、農家数は1.5倍以上に！

地域木材の積極的な活用　川上から川下まで支援

地域材活用住宅建設促進費 7,788万円
【国費3,330万円】
林業担い手確保・育成支援費 2,550万円
森林整備基金積立金1億 639万円

拡充

●地域材の活用に向けた林業支援　継続

○林業担い手確保育成支援補助金【補助率1/2以内】

・想定数 2 経営体
・林業機械の導入支援

（想定機械）
・ハーベスタ（約2,000万円）
・油圧ショベル（約2,000万円）等



人手不足に対応し、**市有林をはじめ地域材の流通**を支援！

【補助実績】
・R６年度：約1,860万円
・R７年度：約　693万円（見込）
・R８年度：約**2,550**万円（予定）

●森林環境譲与税の有効活用　継続

○歳入見込：約1億608万円（活用見込：約1億4,460万円）
※令和8年1定補正分を含む

○活用使途
①森林整備▶民有林支援、森林経営管理、林道整備等
②人材育成▶北森カレッジ支援、林業事業体の人材育成支援等
③木材利用▶市有林の森林認証、記念品への地域材活用等
④普及啓発▶林業・森林イベント、市民向け講座等
⑤その他　▶地域材活用住宅建設補助金等

●地域木材の積極的活用　拡充

○地域材活用住宅建設補助金

- 財源に森林環境譲与税を活用
- 地域材を活用した住宅建設の工事費用の一部を補助

▶“省エネ性能が高い住宅の建設促進”や“脱炭素社会の実現”へ



地域材活用
住宅建設補助金
最大500万円



加算分
○最大100万円
・子育て世帯又は二世帯同居：100万円
・除却工事　：50万円

基本分
○最大400万円（150～400万円）
・旭川産材の木材使用量に応じて金額を決定

補助実績
R6　23棟
R7　20棟

新たに「除却工事」加算を導入

「１００億円企業」への支援

新規

（新）地域中核企業成長支援費
800万円

●国の新制度「１００億宣言」を活用し１００億円企業創出に向けた支援の開始！

【令和８年度の事業内容　▶　本格実施向けた事前調査・普及啓発】

○市内企業のリサーチ・掘り起こし

- 売上高10億～100億規模の約200社の財務状況や中期経営計画等を調査
- 市内中小企業における100億円宣言への意向調査や伴走支援ニーズを把握

○100億宣言に向けた機運の醸成

- 100億宣言制度の周知や先進企業の事例紹介を行うセミナーの開催
- 積極的な経営者に向けたワークショップ等の開催

【100億宣言とは】

中小企業が飛躍的成長を遂げるため、自ら「売上高100億円」という目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを、宣言するもの。

宣言企業は国の補助制度（最大5億円）や専門家支援の優先対象となる。

全国：約2,200社　北海道：71社　旭川市：３社

【令和９年度以降の事業イメージ　▶　伴走支援を本格的にスタート！】

伴走支援

企業とともに歩み経営課題を解決する支援体制

▶　専門コンサルや産業支援機関による支援体制を構築し伴走支援

＋

戦略的支援

「100億宣言」を目指す中小企業を重点的にサポート

▶　国の支援制度（中小企業加速化補助金）の活用も含め重点サポート

➡

競争力強化

地元企業の継続的な成長を促進し、地域経済を活性化

▶　中核企業の成長を促し、同様の事例を積み上げ地域経済全体を底上げ

地域商社の育成　特産品開発と販路拡大

新規

戦略的国内外市場開拓推進費
1,651万円【国費740万円】

●地域商社の体制と機能の強化

○旭川地場産業振興センターに地域活性化起業人を配置

・民間企業で商品開発等に携わっていたプロフェッショナル人材

○支援機関の連携強化による支援体制構築

・地場産センターと産業創造プラザを有機的に連携

・ターゲットに合わせた商品開発と販路開拓を一体的に支援

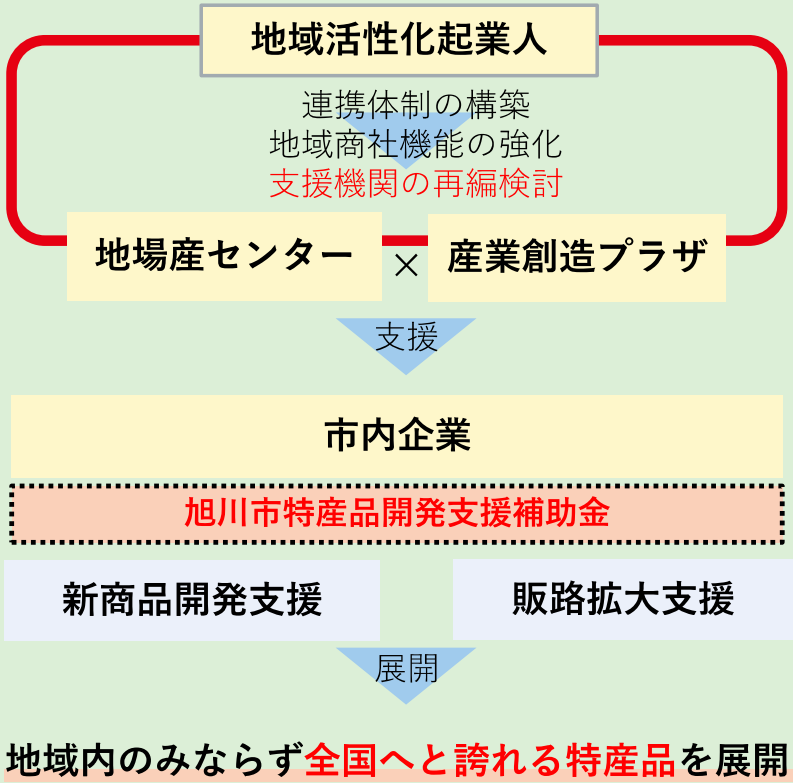
●旭川市特産品開発支援補助金の創設

・上限額　：50万円
・補助率　：4/5
・想定件数：5件



地場産業振興センター及び産業創造プラザから新商品開発支援を受けて、**新商品開発計画**を策定した事業者を対象とすることを想定

【事業イメージ】



地域内のみならず全国へと誇れる特産品を展開！

将来イメージ▶ 旭川独自のブランド認証制度を創設し、地域産品のブランド価値を高める！

中小企業の経営支援　AI･DXの活用と人材確保

中小企業AI・DX活用支援費
5,000万円【国費5,000万円】
地域企業人材確保支援費
2,770万円【国費2,770万円】

新規

物価高騰

●中小企業のAI･DX活用を伴走支援　新規

中小企業の業務効率化、生産性向上、経営体質の強化のため、
中小企業の**AI・デジタル技術（DX）の導入**にかかる**伴走支援**及び
補助金による設備や機器の導入支援を実施

○AI・DX活用伴走支援事業

AI技術導入における課題解決等を図るために、**AIツールの選定**から
運用サポートまでを一貫して行う伴走支援を実施

○デジタルツール導入支援補助金【補助率3/4】

- **上限額：**【通常枠】**200万円**　【小規模枠】**60万円**
- **対象者：**市内に本社を置く中小企業者（個人事業主含む）
- **活用例：**【飲食業】POSレジ・注文管理システムの導入
  【小売業】在庫管理システムの導入
  【建設業】写真管理・日報作成等、現場管理アプリ導入





●中小企業と求職者のマッチングを支援　新規

人材不足対応のため**デジタルを活用した就労マッチングサービス**
（単発バイト（スポットワーク）マッチングシステム）等を利用
した際の手数料の費用を補助

- **上限額：20万円　・補助率：10/10　・想定：120件**
- **対象期間：**（第１次）令和8年5月1日～7月31日
  （第２次）令和8年8月1日～10月31日
  ※第１次の利用状況により追加募集を予定

補助利用後、**正規雇用**として１か月以上かつ申請日まで就業した場合

さらに20万円 を加算！！



⑧ デザイン・まちづくり

旧東海大学旭川キャンパス施設の活用

旧東海大学旭川キャンパス
施設管理費
150万円

拡充

●これまでの経過

平成26年3月　東海大学旭川キャンパス閉鎖
平成28年3月　学校法人東海大学より寄附受領
　～庁内利用・サウンディング調査・民間事業者との協議～
令和7年8月-12月　利活用候補者の募集
令和8年1月19日　選定委員会において利活用候補者を決定





本市の街並みを一望できるロケーションや旭川空港などからのアクセスが良好であることを生かし、**地域経済の活性化**や**地域振興**を図る提案を募集したところ、**３者**から応募があり、選定の結果**「森林体験施設、リゾートホテル、プライベートヴィラ」**として活用する事業者に**決定**

●想定スケジュール

令和８年１月

利活用候補者決定

令和８年２月以降

協定締結　**契約内容協議**
地域説明会の開催
都市計画変更等手続き

仮契約締結

議会の議決をもって
本契約に移行

所有権移転以降

施設改修工事

デザインによるまちづくり

デザイン政策推進費 2,200万円
【国費1,000万円】
ユネスコ創造都市ネットワーク連携費
70万円

拡 充

●デザインシステムの地域展開

令和６年６月　デザインシステムリリース

令和８年１月　デザインシステム第２章～市民利用の促進～









令和
８年度

デザインシステムの管理を地元デザイナーへ移行

デザインシステムの活用人材を育成





デザインシステムを地域に根付かせ、
デザイン創造都市としてのまちの一体感を創出

●ユネスコ創造都市国内ネットワーク会議（R8.5.20-21開催予定）

旭川初開催

国内ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市（12市）が一堂に会し、情報共有や意見交換

旭川家具など旭川の魅力が感じられるプログラムを開催予定！



北彩都エリアの活性化

都市計画公園整備費2,550万円

新規拡充

●ドッグランの整備・運用 拡充



R6-7年度（夏季）
累計利用数
7,738頭

令和８年度も試験運用を継続し、
本格運用に向けて必要な設備等を検証！

開設期間

R7年度	R8年度(見込み)	
約３か月 （８～９月、１月）	約５か月実施へ （6～7月、9～10月、1月）	2か月延長！

●水で親しむ北彩都エリア 新規

○北彩都ガーデンに
給水施設を整備

イベント開催が
しやすい空間へ進化！



○鏡池の親水性向上
○ドッグプール設置
にむけた調査を実施

水を活かした
新たなスポット創出へ



行きたくなる買物公園の創出

拡充

中心市街地活性化推進費
6,322万円
【国費740万円】

中心市街地活性化に向けた取組（滞在時間増加と回遊性向上）

R4～R5
- 買物公園開設50周年事業
- 買物公園あり方検討会議
- エリアプラットフォーム構築
- 未来ビジョン策定

R6～R7
- 社会実験
- まちづくりスクール

R8
- ２度の社会実験を評価・検証し、未来ビジョン実現に向けたロードマップ策定
- バスキングの導入

R9以降
- 未来ビジョンを実現するための取組（買物公園の広場化やまちづくりの担い手創出等）

令和８年度　**２度の社会実験から、目指すべき買物公園像を明確化**

●社会実験の実証と市民意見の聴取
～買物公園に必要な機能を抽出し、買物公園像を明確化

●バスキングの導入
～ワンストップ申請で買物公園の利活用が可能に！

●マネジメント組織の構築
～民間人材を活用し、まちづくりの担い手を創出



フードフォレスト旭川－食×デザイン－

拡充

食品産業成長推進費
650万円
【国費325万円】

●「あさいち」のアップグレード

令和７年度「朝のあさひかわプロジェクト」実績

開催回数：４回
来場者数：約１５，０００人
出店者数：１４０人

朝のイベントとして徐々に定着





〇プロジェクトが一過性で終わらない持続可能な発信につなげ、食関連事業者の挑戦と成長を後押しする

令和８年度

- 開催回数　年８回（４週連続×２回）
- 実施時期　①７月～８月　②９月～10月
- 会　　場　北彩都ガーデン（予定）
- 出店規模　各回15～20店舗程度　※地域の多様な出店者



都市機能の充実による まちの活性化

拡充

優良建築物等整備事業補助金
4億9,100万円
【国費2億3,950万円】

●優良建築物等整備事業補助金

中心市街地の恒常的な賑わいの創出
交通結節機能の強化により**回遊性の向上**に
つながる都市機能施設の整備費用の一部を補助

〇補助対象要件

地区面積1,000m2以上の建築物（3階以上、一定規模以上の公開空地確保等を満足）

〇令和８年度補助対象

３・７地区（オクノ跡地）
３・15地区（三番舘ビル等）



補助金額

令和６年度 2,000万円 → 15倍 → 令和７年度 ３億円 → 1.6倍 → 令和８年度 **約4億8千万円**

●旭川市都市機能施設誘導促進補助金

優良建築物等整備事業の対象とならない**比較的規模の小さい都市機能施設**の整備に対して建築費用の一部を補助

〇補助対象要件

対象都市機能施設が建物全体の１/２以上で１階フロアに含まれること

〇令和８年度補助対象

２条通７丁目 宿泊施設
２条通８丁目 宿泊施設



令和６年度から制度運用開始

⑨ 女性・若者

女性活躍推進第２章～キャリアと所得の支援～

つながりサポート事業費
827万円【国費　619万円】
キャリアの保健室事業費
575万円【国費　288万円】

新規拡充

●キャリアの保健室事業

○学生向けキャリア教育出前授業　拡充

学生向け

・対象　市内高等学校
　　専門学校
　　大学　　各１校
・回数　各校１回（予定）
・内容　地域企業や社会人の講話
　　企業との交流など



○中小企業診断士等による相談支援　継続

社会人向け

働く上での悩み事を専門家が相談対応

✓男性の育休制度　✓家庭と仕事の両立
✓キャリア相談　✓起業相談　など

相談情報を市内の企業にフィードバック（市内企業の支援）

●ひとり親家庭等への支援　新規

○事業目的・内容

ひとり親家庭などで経済的に困窮している方を
対象に、所得向上につなげるための講座を開催

○講座内容

ファイナンシャルプランナー等が
税法上の仕組みや各種制度などを教える

○実施回数

年５回程度（予定）



若者に対する包括的な相談体制

（新）若者総合相談事業費
1,709万円
【国費342万円】

新規

●若者支援総合相談窓口の設置

- ヤングケアラー
- ひきこもり
- 生活困窮
- ＤＶ
- 精神疾患

など



若者の様々な悩みを支援！

誰でも気軽に相談できる！



●子ども・若者支援地域協議会の設置に向けた調査

〇各機関と情報交換・協議が行える体制構築
⇒庁内外の機関が連携して、
子ども・若者へ必要な支援を届ける！

●ケアさぽ事業

〇ヤングケアラーコーディネーターによる相談支援を実施
・当事者からの相談対応
・学校等の関係機関との連携
・児童虐待のおそれがある場合は虐待対応所管課への引継ぎ

⇒ケースに応じ、適切な機関での支援へ

相談窓口を起点として、若者への包括的な支援体制を構築！

スタートアップ支援拠点整備に向けた支援

新規

スタートアップ伴走支援費
2,873万円

●旭川らしいスタートアップ拠点整備に向けた支援を開始！

【令和８年度の事業内容　▶　スタートアップの気運醸成と拠点整備に向けた構想検討】

○スタートアップの気運醸成に向けたイベント等の開催

・若者や学生、起業家など様々な人が出会う場づくり
・起業の知識を学ぶセミナーや起業家の体験談を直に聞くイベント等の開催

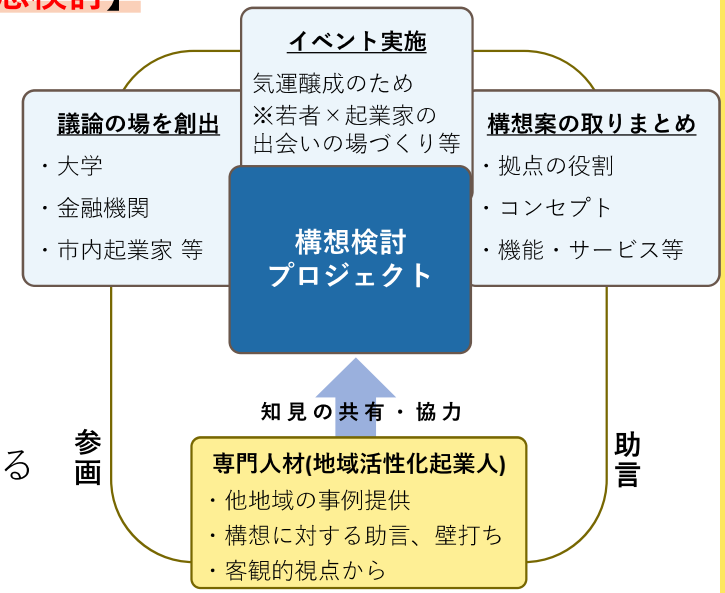
○旭川のスタートアップ支援拠点に必要な機能や構想等を議論

・起業を志す人に加え、起業家、大学、金融機関等、様々な方が参加

○イベントや議論を通じて旭川らしい拠点の構想を描く

・旭川らしい拠点の役割、コンセプト、機能、サービス、運営体制等をまとめる

【R8年度事業イメージ】



【今後の事業ステップイメージ】

STEP1【令和８年度】
構想検討プロジェクトを踏まえたあるべき拠点像の整理

STEP2【令和９年度以降】
設置場所や整備手法、財源、管理運営手法等の具体的な検討

STEP3【時期未定】
施設の整備運用開始





⑩市役所改革・市民参加

ASAHIKAWA CITY

「次世代窓口旭川モデル」の実現

（新）次世代窓口構築運営費
1億8,532万円
【国費1億円】

新 規

R7
補正

自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト

～オンライン手続の徹底による改革効果の向上を目指すモデル～

採択！

（全国３プロジェクトのみ！ 交付上限額１億円！）

自宅で　AIによる最適な案内

行かなくてもいい

オンラインで手続完結！



窓口で　AIをフル活用

- 市民の皆さんが迷わず窓口へ
- スムーズかつ正確な窓口処理
- 待ち時間 最大２０分削減見込

※転入届＋関連手続

日本一の窓口へ!!

市役所機構改革



市役所の機能強化・持続可能な行政運営を実現するため、
平成20年以来となる大規模な機構改革を実施！

こども、女性、若者をトータルで支援

- いじめ防止対策推進部
- 子育て支援部
- 女性活躍推進部

こども・女性・若者未来部

こども、女性、若者、子育て世代への支援を切れ目無く実施

徹底的な行財政改革

- 総合政策部 財政課
- 行財政改革推進部
- 税務部

行財政改革部

ふるさと納税等の歳入確保と、施設再編、行政改革等による業務改善を一元管理し、財政基盤を強化

シティプロモーションを前面に打ち出す！

- 観光スポーツ部
- 総合政策部 都市交流課

観光スポーツ・シティプロモーション部

シティプロモーションの切り口で、観光・スポーツ等の旭川の魅力や優位性を国内外に対して強力に発信

デザイン思考・データ分析による政策立案

- デザイン思考で組織に横串を刺す
- デザインシステムのさらなる発展
- 市の強み弱みを分析政策立案に活かす

新設置

デザイン・マーケティング課

職員の働き方・働きがい改革

職員活性化推進費 1,485万円
【国費743万円】
業務改善推進費 1,837万円
情報共有化促進費 337万円

新規
拡充

●新しい人事運営の推進 新規

AIを搭載した人材管理システム
「人材マネジメントシステム」を導入

経歴 能力 評価

人材情報を可視化





AI 蓄積されたデータを基に
AIが人事業務をサポート



○市役所機能の強化

若手職員の活躍機会の拡大
職員のやりがい創出・増進

○人事業務効率化

Excel業務からの脱却
DX化で迅速な分析・意思決定

将来的には

（R8試行実施予定）

○フリーエージェント制度
職員が希望する職場に応募できる

○アナザーエックス制度
職場が職員を募集できる

（R8後期からの実装検討中）

○新たな人事評価制度
一般職の昇給にメリハリをつける

の導入を目指す！

●デジタルツールを活用した業務改善 拡充

ノーコードツール「kintone」を活用して、
職員自らがアプリを制作し、業務を効率化！

kintone

アカウント数	500⇒**1,544**	約３倍！
アプリ数	258⇒**403**（見込）	
業務削減時間数	**約20,000時間**（見込）	

●多様な働き方の実現 拡充

テレワーク・時差出勤
フレックスタイム

本格運用へ加速！



子育て・介護世帯などでも
働きやすい職場へ

拡充

対話を通じた市政の推進

広聴コミュニケーション推進費
82万円

●まちづくりタウンミーティング

〇時代に寄り添い、常に新しい旭川を目指したまちづくりを進めていくため、市内各地でタウンミーティングを開催

◐（仮称）今津市長がゆく！

〇協働事業など地域に貢献いただいている企業や団体を訪問。
〇旭川の未来を見据えた連携強化に向け、意見交換を行う。

市の重要課題について
市民と双方向の意見交換







取組の見える化

まちづくりの機運を高め、市政推進の原動力に！

・動画や写真を積極的に活用し分かりやすく！
・ホームページやSNSでスピーディーに！
・YouTubeを活用した効果的な情報発信